



山崎 正春 議員

### 瓢湖の環境整備をどうするか

**質問** 瓢湖には年間30万人近い観光客が訪れるといわれている。特に平成20年10月30日、国際条約である「ラムサール条約」による「登録湿地」として認められてからは、県内外は勿論諸外国の観光客が急増しているようである。

**そこで伺う。**  
①瓢湖でボランティアガイドをしていると、特に気の付くことはありますか。

ス等での観光客の身支度は、ほとんどが軽装であり、瓢湖は真冬である。暖房のついた見物席が必要ではないのか。特に雨風や吹雪等の場合説明も出来ない。

**新潟市の佐潟のような施設が最低でも必要ではないのか。**  
②湖底堆積物（ヘドロ）から発生する異臭や湖底のメタンガスの発生により瓢湖の環境は、著しく悪化している。周辺の住民の住環境保護の観点からしても、早急に対策を考えるべきと思うがどうか。

**回答** 国際的にもステータスが上がった瓢湖には、真冬の観光客が多く訪れる。この時期は天候不順であることから暖房施設のある観覧場が必要である。

暖房付きプレハブ観覧舎一棟のほか、現在の管理事務所を観覧舎として解放し臨場感あふれる野鳥観察ができることにする。

堆積物（ヘドロ）については、湖底には約30cmの堆積汚泥がある

が平成22年度の環境省の調査では余り進んでいないとのことであるが、本年度試験した「超微細気泡発生装置」による試験を来年度も実施し、環境整備に努力する。



中島 正昭 議員

### 市街地（特に駅周辺）整備計画について

**質問** ①市道若葉町安野川線の供用開始にあたり、ますます事故多発が懸念される。長年の懸念であった駅前通りの拡幅事業の計画について。

②「ギフトしこーえん」前の四つ角拡幅問題。

③国道49号へ出るには青信号4〜5回待ちの中島5本口交差点の拡幅について。

④駅脇の「市営駐車場」の整備と

繋がる新設道路の設計は決まったのか伺う。

**回答** 昭和31年以来都市計画道路としての幹線道路ではあるが、狭いうえに歩道もなく整備の必要を認識もいまだ整備が成されてない。又「ギフトしこーえん」前の四つ角も小中学生の通学路でもあり、狭く見通しも悪く極めて危険個所と認識はしている。5本口交差点の渋滞の著しさも承知しているが、いずれも事業化に向け「県」に訴え改善を要望したい。

「駅市営駐車場」については、地権者から接続道路の協力を頂き、年度内の整備完了を目指したい。

**質問** 日没が早く、学校生徒の下校時、集落へ続く道路の防犯灯設置は、市民の要望に叶う程進んでいるか、特に「大野地〜原線」の設置予定を伺う。

**回答** 防犯灯新設は通学路12カ所の要望が未設置であるが、優先順位を検討し、順次整備を進めたい。



稲毛 明 議員

### 防災計画を凶れ

**質問** 国と東京電力は来年春季以降に世界最大出力をもつ柏崎刈羽原発の再稼働を計画している。防潮堤は来年6月に工事終了予定と聞いている。柏崎刈羽原発の事故の際の避難などの防災計画を市として検討、計画しているか伺う。

**回答** 「実効性のある避難計画（暫定版）」による本計画の主な組立て方は、柏崎刈羽原発から距離、5km（PAZ）、30km（UPZ）、

50km（PPA）及び50km超の4つに分別、それぞれの地域に応じた「避難・屋内退避・避難者受入れ」に対する共通の考え方」について現時点での最大限の内容をもって策定した。

市としては、避難者受入れ対応が中心であるが、研究会の避難計画を参考に、市の防災計画に盛り込むなど、本市の実情に即した防災対策を講じていく。

### 国道290号の安全対策について

**質問** 勝屋〜折居までの歩道整備や雪害対策（消パイ、桜並木の枝下ろしなど）について伺う。

**回答** 折居・女堂・湯沢の自治会からは平成26年度に予定されている消防署の統廃合に伴う笹神分遣所の廃止による不安もあり、円滑な通行のため道路拡幅を含めた歩道整備、出湯自治会からは、消雪

パイプ整備について要望がある。市では管理者である県に対して歩道整備、路肩拡幅、側溝のフタ掛、消雪パイプ整備などの安全対策を強く要望。歩道整備区間については県からも現場を見てもらい、再度要望し実現するまで働きかけていく。

桜並木の管理では特に村杉地内では多くの枝が道路上にせり出した状態である。折れた枝の落下で事故の危険性が高まるので支障となる枝（16本）の処理を12月補正に計上した。



倉島 良司 議員

### TPP交渉参加への認識に変化は

**質問** 野田首相は、東アジア首脳会議での日米首脳会議で、TPP交渉関係国との協議を加速させると報道されている。

TPPが日本という国の形を変え、地域経済をこわし、市民の生活に深刻な、大きな悪影響があることがまだまだ国民に知らされておらず、議論も極めて不十分だ。持続可能な阿賀野市農業とTPP参加は相いれないものと考えざるを得ず、そのためにはTPP参加反対の立場に立つべきと思うが市長の対応をお尋ねする。

**回答** TPP交渉参加より農業の保護政策が先であり、食料自給率の問題を含め、しっかりとした国の政策を打ち出し、方向性を示してほしい。

いずれにしても、選挙結果（衆議院）を踏まえ、県などの連携のもと対応していきたいと考えている。

### 国保法44条に基づく窓口支払い減免制度について

**質問** この制度、阿賀野市では、いまだに条例化されていない。

実施した場合どのくらいの予算が必要か伺う。  
**回答** 国保会計が恒常的な赤字であるという現状では制度化することとは厳しいと考える。一人の方が最長減免期間（標準）である3カ

月入院の場合、約40万円の予算が必要と思われる。



### 京ヶ瀬中学校だよりを読んで

**質問** 現場の教師のご苦労に頭の下がる思いだが、生徒は多感な少年期であり社会も複雑だ。教育委員会への考えを伺う。

**回答** 学校への人的支援がとても大事。県教育委員会から加配教員、相談員等の配置。市教育委員会としても助員の配置に努めた。